

MONTHLY REPORT

—
WELCOMING THE
CHINESE NEW YEAR

—
HOT
CAMBODIA
NEWS
SUMMARY –
JANUARY 2025

HAPPY
Spring
New Year

2025.02





GOLDEN CAMBODIA CENTURY

GC Orussey Market 1月 建設進捗報告

2025 01 30

香港スターがGCオルセーマーケットプロジェクトを訪問香港の俳優 陶大宇（マイケル・タオ）氏と 莫家淦（キース・モク）氏が、カンボジア・プノンペンのGCオルセーマーケットプロジェクトを訪問しました。お二人は、当社の事業展開やカンボジアの投資環境について理解を深められました。今後の協力を楽しみにしております。カンボジアへの投資に関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。無料の個別相談を実施しています。



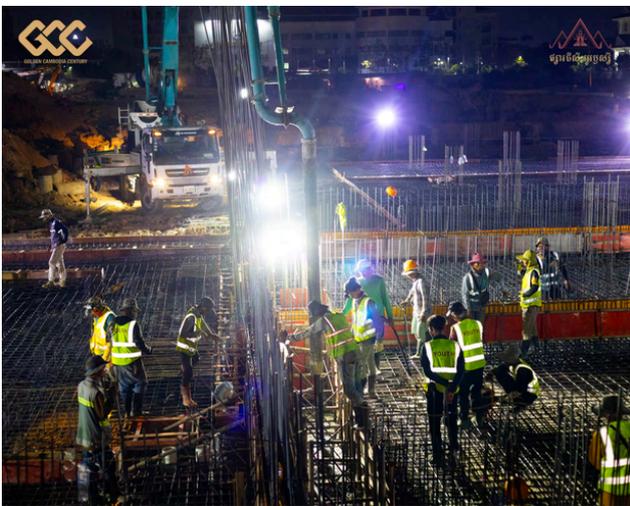


2025 01 20

数百台のコンクリートミキサー車を夜間に建設現場へ投入し、地下のコンクリート打設を開始しました。部分的な作業を完了した後、建築フェーズへと進みます。

1月2週目には、夜間に現場での調整を行い、地下階のコンクリート施工を実施。部分的な作業を終えた後、床スラブの構築段階に入りました。





2025 01 14

GCオールセーマーケットの新ショールームが完成しました。このショールームはプロジェクト現場の隣に位置し、建設の進捗をより明確に確認しながら、プロジェクトの詳細を理解できるようになっています。すべてのお客様のご来訪をお待ちしております。





2025 01 03

IFCGがGCC香港オフィスを訪問

タイの大手不動産代理会社 IFCG のCEO ウィトゥーン・ラートパノムワン氏 (Witoon Lertpanomwan) が、GCC香港オフィスを訪問しました。今回の会議では、意見交換を行い、今後のさらなる協力の可能性について議論しました。2024年11月、GCCはIFCG Public Company Limited および Knightsbridge Partners と契約を締結し、GCオルセーマーケットの独占総代理として正式に任命しました。今後の協力を通じて、さらなる価値と機会を創出してまいります。





CAMBODIA
MY 2ND HOME

Latest Information

2025 01 06

タイ最大級の投資・移住支援エージェンシー IFCG が、カンボジア内務省公認の10年間ゴールデンレジデンスビザを提供するCM2Hに正式参加しました！

CM2Hは、出入国無制限でスムーズな移動、生活・ビジネスの優遇措置あるビザプログラムです。投資家の皆様に最適な環境を提供するCM2Hにご注目ください！



CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2025 01 30

日本・ASEAN金融技術支援20周年記念式典を開催



在カンボジア日本大使館は、日本とASEANの金融技術支援（FTA）20周年を記念し式典を開催しました。2004年より ASEAN+3債券市場構想（ABMI）の下、アジア開発銀行（ADB）と協力しカンボジアの金融市場発展を支援。企業債（2018年）、国債（2022年）、持続可能債（2023年）の発行に貢献しました。現在、支援は第11フェーズに入り、2025年9月まで継続予定。植野篤志駐カンボジア日本大使は、日本の継続的な支援を表明しました。

出典：[Japan, ASEAN mark 20 years of FTA in Cambodia](#)

2025 01 29

ポーランドのリプロ・フーズ、カンボジアに食品加工工場を設立へ



ポーランドの食品加工企業 リプロ・フーズ は27日、カンボジアに食品加工工場を設置すると発表し、同日カンボジアの複合企業 ワールドブリッジ・グループ と覚書を締結しました。リプロ・フーズのシーザー・リプカCEOらはカンボジアを訪問し、スン・チャントール副首相兼カンボジア開発評議会（CDC）第1副議長 と会談。同CEOはカンボジアの成長性に期待を寄せ、早期の進出を目指す意向を示しました。リプロ・フーズは1993年にスーパードロブ（SuperDrob）として創業し、2017年にはタイの大手食品企業 チャロン・ポカパン・フーズ（CPF） との合弁会社 CPFポーランド を設立。現在は、養鶏や食肉加工のほか、調理済み食品、植物由来食品、ペットフードの製造を手掛けています。

出典：[Polish food processing firm to set up plant in Kingdom](#)

2025 01 29

日本とカンボジア、テチヨ国際空港（TIA）への直行便開設を協議



カンボジア空港投資（CAIC）と植野篤志駐カンボジア日本大使は、建設中のテチヨ国際空港（TIA）への日本からの直行便開設について協議しました。現在、2025年7月の空港開業に向け、運航再開の可能性が模索されています。空港の建設進捗率は94%に達し、約15億ドルが投資されています。最終的には年間5000万人の旅客受け入れを目指します。また、2025年大阪・関西万博での観光PRや、視察ツアー、プロモーション動画制作も検討。2024年1～11月の日本人観光客は前年同期比32.2%増の10万22人でした。

出典：[CAIC, Ambassador Ueno discuss direct flights from Japan](#)

2025 01 20

フン・セン氏、カンボジアとマレーシアの貿易額を20億ドルへ



カンボジア上院議長のフン・セン氏は、マレーシアとの貿易額を20億ドルに拡大するよう提案されました。これは、マレーシア下院議長ジョハリ氏との会談において述べられたもので、両国の貿易、投資、観光の促進を目的としております。ジョハリ氏は、フン・セン氏の卓越した指導力を称賛し、ASEANの若手指導者が学ぶべき模範と評価されました。2024年の両国の貿易額は、前年同期比36.9%増の約8億6,500万ドルに達し、今後さらなる成長が期待されております。

出典：[Cambodia, Malaysia must push trade volume to \\$2B, Hun Sen says](#)

2025 01 16

大使、日本におけるカンボジア観光セクターの促進を約束



日本の植野大使は、カンボジアの社会的安定、安全保障、および前向きな発展を日本の市民、観光客、そしてビジネス界に向けて促進することを約束しました。これは、フオット・ハク観光大臣がカンボジアの観光地の一層のプロモーションを求めたことを受けたものです。同省は、2025年のジャパンエキスポへの参加を予定しており、直行便、ファムトリップ、共同プロモーション観光動画の制作などで協力していく計画です。

出典：[Ambassador pledges to promote Cambodia's tourism sector in Japan](#)

2025 01 14

カンボジアとオーストラリア、農業開発協力を継続推進



カンボジアとオーストラリアは、相互利益のために農業開発におけるパートナーシップを引き続き継続することに合意しました。カンボジアのディス・ティナ農業・林業・漁業大臣とオーストラリアのデレック・イップ大使は、この合意について話し合い、カンボジアの農業分野に対するオーストラリアの支援に感謝の意を表するとともに、新たに発表された香り高い米の品種「チャンペイ・サー70」の導入に喜びを示しました。

出典：[Cambodia, Australia to continue agricultural development cooperation](#)

2025 01 13

カンボジアの輸出額、2024年に15.7%増の260億ドルに——GDCE発表



カンボジア税関・消費税総局（GDCE）の報告によると、カンボジアの輸出は2023年に15.7%、輸入は2024年に18%増加しました。同国の総貿易額は547.4億ドルを超え、その中で米国がカンボジア製品の最大の輸出市場となりました。

出典：[Cambodia's exports up 15.7% to \\$26 billion in 2024, GDCE says](#)

2025 01 13

日本外相、カンボジア経済を称賛



日本の加藤勝信財務大臣は、カンボジアの経済成長を称賛し、協力関係の強化を約束しました。加藤大臣は、カンボジアを日本にとって重要なパートナーと評価し、今後の成長に対する期待を表明しました。フン・マネット首相は、2023年初めに戦略的パートナーシップへと格上げされた両国関係の進展に満足の意を示しました。加藤大臣の訪問は、カンボジアと日本の関係強化に寄与することが期待されています。

出典：[Japanese FM lauds Cambodian economy](#)

2025 01 10

カンボジアとロシア、観光協力の促進について協議

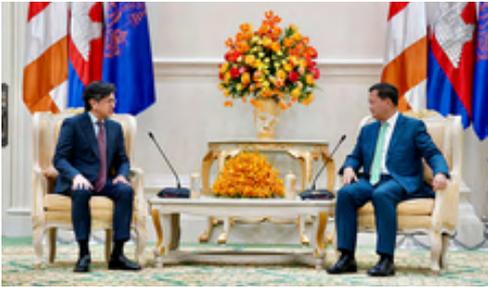


カンボジアのフオット・ハク観光大臣は、ロシアのアナトリー・ボロヴィク大使と会談し、両国間の観光協力強化について協議しました。両者は、覚書（MoU）を策定するための技術作業部会を設立することで合意しました。ボロヴィク大使は、カンボジアの政治的・社会的安定と優れた治安が、ロシア人観光客を惹きつける重要な要因であると高く評価しました。

出典：[Cambodia, Russia discuss tourism cooperation promotion](#)

2025 01 10

エバーコア・アジア、カンボジアとの協力強化に意欲



投資銀行アドバイザリーの大手企業であるエバーコア・アジアは、再生可能エネルギー、医療、観光分野におけるカンボジアとの協力強化に関心を示しました。会長のキース・マグナス氏はフン・マネット首相と会談し、首相はカンボジアの発展と王国政府の「五角戦略・フェーズI」を高く評価しました。また、首相はカンボジアのエネルギー開発政策を称賛し、2030年までに再生可能エネルギー比率を70%に引き上げる目標や、全国の医療サービス強化への取り組みを強調しました。

[出典：Evercore Asia keen on fostering cooperation with Cambodia](#)

2025 01 10

アクレダ銀行、債券を通じて追加資本調達予定



カンボジアの有力商業銀行であるアクレダ銀行株式会社は、カンボジア国家銀行からカンボジア証券取引所（CSX）を通じたサブオーディネート債券発行の承認を得ました。同銀行は、この債券を資本調達、一般的な銀行業務、および企業目的に活用する予定で、関連するすべての当局の要件を満たすことを確実にしています。

[出典：ACLEDA Bank to raise more capital through bonds](#)

2025 01 08

アメリカ大使館のプログラム、カンボジアの女性起業家支援

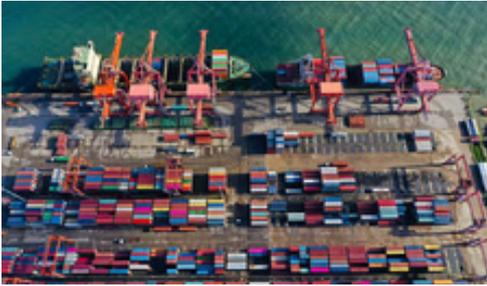


プノンペンのアメリカ大使館は、女性の専門スキルと経済アクセスを通じて女性を支援することを目的とした「女性起業家アカデミー（AWE）」プログラムの提案を募集しています。このプログラムは2019年に設立され、世界中で25,000人以上の女性起業家に力を与えてきました。今回のプログラムでは、ビジネス経験を持つカンボジアの女性30人を対象としています。

[出典：US embassy program to help women entrepreneurs in Cambodia](#)

2025 01 07

カンボジアのオーストラリア向け輸出額、報告によると約4.5億ドルに達す



出典：[Cambodia's exports to Australia reach nearly \\$450M, report says](#)

カンボジアのオーストラリア向け輸出額は、2024年の最初の11ヶ月で約4.5億ドルに達し、前年から36%の増加を記録しました。両国間の貿易総額は5.47億ドルとなり、前年同期比で20.95%増加しました。カンボジアの輸出額は4.44億ドルを占め、オーストラリアからの輸入額は1.02億ドルで、19.33%の減少を示しました。オーストラリアは、地域包括的経済連携（RCEP）のメンバー国です。

2025 01 03

カンボジアと韓国の貿易総額、2024年に7.62億ドルに達し11.49%の成長



出典：[Cambodia-Korea trade reaches \\$762 mil in 2024, 11.49% growth](#)

カンボジアと韓国の二国間貿易総額は2018年に7.62億ドルに達し、前年から11.49%増加しました。カンボジアの輸出額は2.88億ドルで、13.77%の増加を記録しました。この成長は、カンボジア・韓国自由貿易協定（CKFTA）の支援によるもので、CKFTA合同委員会の初会合が韓国で開催され、手続きの措置が承認され、提案事項のレビューが行われました。

2024 12 18

2024年、カンボジアの日本およびカナダとの貿易が成長



出典：[Trade with Japan, Canada sees growth in 2024](#)

日本とカナダは、2024年にカンボジアの5番目および6番目の貿易相手国になると、カンボジア税関・消費税総局のデータが示しています。両国間の貿易額は、2024年の最初の11ヶ月で19%増加し、19.49億ドルに達しました。カンボジアの日本向け輸出額は12.72億ドル、輸入額は6.77億ドルとなりました。

2025 01 03

マイクロファイナンス機関 (MFI)、約4億ドルのローン再構築



カンボジア・マイクロファイナンス協会 (CMA) は、マイクロファイナンス機関が2000年から2024年11月までの間に96,000人以上の顧客のローン残高を再構築し、その総額は約4億ドルに達したと報告しています。再構築された総額は22.6億ドルで、現在、96,056人の顧客が3.95億ドルのアクティブな再構築残高を保持しています。

出典：[MFIs restructure nearly \\$400M in loans](#)

2024 01 02

カンボジア、新年の前夜に350万人以上の観光客を迎える



カンボジア観光省 (MoT) の報告によると、2024年の最後の2日間、カンボジアは354万人の観光客を迎えました。この特別な2日間で、カンボジア人観光客の数は3,488,065人に達し、外国人は47,260人に増加し、観光客の合計は3,535,325人に達しました。トップ5の潜在的な目的地の中で、プノンペン市はリストの第1位にランクされ、シアヌークビル、シエムリアップ、バタンバン、カンポット州がそれぞれ続けました。

出典：[Cambodia draws over 3.5M tourists on New Year's Eve](#)

2024 12 31

FTCプロジェクト、国の経済を推進するため順調に進行中



フナン・テチョ運河 (FTC) は、フン・マネット首相によって開始された17億ドル規模の大規模プロジェクトで、カンボジアの持続可能な開発に向けて進展しています。このプロジェクトは、水管理と都市成長の課題に対処することを目的としています。フン・マネット首相は、プロジェクトの実施に障害はないことを発表し、スン・チャントール副首相は、計画通りまたは予定より早くプロジェクトが完了することを再確認しました。

出典：[FTC project on steady track to propel national economy](#)

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

